



今号内容

1 ページ

事務局紹介
あすなる荘（東京都）
恒松 大輔

2～3 ページ

ブロック活動
紹介
東京ブロック広報活動
紹介

4～6 ページ

全国大会のお知らせ
（概要・開催県より）

7 ページ

協議会あり方検討委
員会開催のお知らせ

編集後記



協議会事務局 紹介

あすなる荘 恒松大輔

こんにちは。

全国自立援助ホーム協議会事務局長の恒松大輔です。

いつも協議会活動では、色々ご協力いただきありがとうございます。普段は東京都清瀬市にありますが自立援助ホームあすなる荘でホーム長をやっています。

新型コロナウイルスの関係で研修や総会が対面でできていないため、メールなどで名前は見たことはあるかと思いますが、写真のような顔でございます。ちなみにもう一枚の写真はプライベートでやっているよさこいの写真です。

自立援助ホームとの出会いは、20歳の時でした。

大学の実習を選ぶ際に、3週間連続ではなく、週1回の実習というスタイルが色々な意味で都合がよかったので、それだけの理由であすなる荘を選んだのが始まりでした。年齢も近く、興味関心も近いものがあつたので、それは楽しく実習を行っていました。しかし、実習も後半になるにつれ、彼らの生き立ちを

聞くようになると、自分のそれまでの恵まれた人生とは違う人生に衝撃を受けました。それでも笑顔で仕事をしている彼らを応援したいという気持ちが、あすなる荘で働きたいと思ったきっかけであり、今も彼らを支援する考え方の原点になっているのだと思います。もし、「彼らを助けたい」とか「人生を変えてあげたい」とか考えていたら、たぶん長くは続けられなかったでしょう。

大学を卒業して、児童養護施設や知的障害児施設、保育所などを経て、あすなる荘に入職して、今年で18年目を迎えています。18年間で約80名の青年たちに出会いました。何をやっても空回りになってしまった子、共依存状態になってしまった子、何をどうしていいかわからなかった子等80人80とおりの中で、辞めようかなと思ったことも数知れず。それでもこれだけ続けてこられたのは、時々遊びに来る卒園生たちが、「ここに來られてよかった」「あすなる荘スタッフに出会えてよかった」等と言ってくれるからだだと思います。

さすがに年齢とともに彼らと興味関心は全く合わず、色々なことを彼らに教えてもらう毎日となりましたが、それでも時には父と子のように、時には年の離れた友人のように、彼らと時間を共にすることが心地よく、いずれ社会に出たときに、「あすなる荘に來られてよかった」と思ってもらえることを目標に今日もスタッフとともに彼らとの時間を過ごしています。

私たちの仕事はゴールも結果も見えず、しんどい思いをすることもたびたびあります。それでも長く続けていれば、この仕事をしてよかったと思える瞬間に出会います（本当にたまにですけどね(苦笑)）。しんどい時は一緒に働いているスタッフと共有してください。協議会の仲間もきっとわかってくれると思います。私はそうやって乗り越えてきました。そんな話ができるようにするためにも一日でも早く皆さんとお会いできる日が来ることを楽しみにしています。それまではしばらくメールと電話での交流となりますが、どうぞよろしくお願ひいたします！



「ブロックでの活動を活発にするには、どうしたら良いのか？」

「他のブロックはどんな活動をしているの？」

そんな声を受け、協議会たより 17 号の「四国ブロック」の活動に続き、「東京ブロック」の活動紹介です。皆様のブロック活動の参考になりましたら幸いです。

【東京ブロック広報活動について】

東京ブロックの
広報活動紹介

東京ブロック広報係代表
マラナ・タ ハウス 秋田

東京ブロック広報係では各ホームを知ってもらう PR 活動を積極的に行っています。

今までに行った内容は

- 毎月ホーム長会の情報発信（協議会のページに発信）
- パンフレット制作（都内ホーム一覧）
- ホームページの作成 <http://tokyo-jien.com/>
- スタッフ募集動画の作成 新卒向け

今後の検討課題として

- ホームページの内容、活用の仕方
- パンフレットの改訂のタイミング 毎年新たな区児相が設置され状況が変化している。東京都から区児相へ移管するホームが出ており、今後新設ホームも予想される。
- 東京都独自のイメージキャラクターの作成 親しみを生む。
- SNS を活用したスタッフ募集の方法 採用ツールの見直し。

自立援助ホームは社会福祉法人、NPO 法人などが混在しており各ホームで内容もバラバラで統一性がなく比較対象がしにくく、その中で特に NPO 法人は個別のホームページも無い所が多数あります。やはりホームページが無いというのはどうなのかという議論が出ました。そこで東京ブロックの活動として全体のホームをカバーすることが必要ではないかという結論になりました。

(次項へ)

まず手始めに東京ブロックのパンフレット制作からスタート。児童相談所のワーカー、入所を検討している児童に各ホームの特徴を比較しながら自分に合ったホーム選びの情報を発信したい、入所後の準備、お願い(全ホーム統一した項目)もある程度伝えておきたいという意向が反映されたものになっています。

パンフレットの構成には非常に頭を悩ませました。入所希望者の質問が多い 3 点を中心にバランスよく内容を配置する。なるべく見易く、わかりやすいをコンセプトに作成しました。

パンフレットを作成する中でやはり今の子どもたちも含めてネットからの情報の方が伝わりやすいのでは？採用は東京では他県と違うところがあるので東京都独自の採用動画を作りたいよね。等々の話題になりました。仮に動画を作成してもその動画をどこにアップすれば良いかが課題であがり、検討を重ねやはり東京都独自でホームページが必要だよねということになり今年度作成しました。ホームページは協議会のものがあるのでそれを上手く利用しながらの活用に重点を置いています。

現在、東京ブロックのホームページは人材採用のツールとしての活用及びパンフレットの補足が大きな柱になっています。

全てにおいてブロック活動の限られた予算の中で行うことが必要で予算は広報活動以外にも充てるのでその調整をしながら行わなければいけないという点は苦労しています。

皆様が一番気になることだと思いますので金額はあくまで参考程度に

○パンフレット

2000部発注 デザイン、送料等を含み税込み 55,730 円

A4 版巻き 3 つ折り 6 ページ(展開サイズ 297×630mm)コート110Kg

○採用動画作成

撮影、編集などを含み税込み 100,000 円

○ホームページ

サーバー利用料税込み 5,569 円(年間)

ドメイン使用料税込み 2,282 円(年間)

それ以外のホームページ作成に関しては「元気さん」に協力して頂きました。

東京は他のブロックと違い東京で一つのブロックの為、比較的物事が進めやすいと思われるかと思います。しかし各ホームが賛同し協力を得られない限り何も進みません。

パンフレット、動画、ホームページにしても各ホーム長が自ホームの運営をしながら全体のことも考えて意見をぶつけ合い、積極的に関与してくれています。今後も連携体制を維持しブロック活動が実りあるものになることを願っています。

全国自立援助ホーム協議会 第27回 鳥取大会

実践から考える自立援助ホームの“今”～支援の“間(はざま)”を再考する～

開催期日 令和4年11月15日(水)～16日(木)

実施方法 ハイブリッド方式(対面+オンライン)

場 所 対面参加者 とりぎん文化会館

オンライン ZOOMによるライブ配信

1日目)

・行政説明 厚生労働省子ども家庭局 家庭福祉課長(予定)

・基調講演「配慮が必要な青少年への支援」

講師:小栗 正幸氏

(特別支援教育ネット代表・宇部フロンティア大学臨床教授)

・シンポジウム①

「自立援助ホームを必要とする若者はかわったのか？」

2日目)

・シンポジウム②

「多様な取り組みからみえる課題と自立援助ホームの未来」

大会スケジュール、留意事項につきましては、全国自立援助ホーム協議会からの会員メールをご確認ください。

“自立援助ホームのみんな 心ひとつに”
作ろうみんなの『合言葉』

集まりました!!



8月4日から9月30日まで募集しておりました『合言葉』。

なんと42のホームから、合計147作品ものご応募をいただきました。

応募くださった皆様、本当にありがとうございました。

結果は、全国大会にて発表となります。

どうぞお楽しみに！

【全国大会の開催にあたって】

第 27 回鳥取大会 実行委員長
内藤 直人(鳥取フレンド)

全国自立援助ホーム
協議会 全国大会
開催県より

全国大会の開催にあたっては、中国ブロックが担当となっていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、この 2 年間、全国大会を開催することができませんでした。当初、対面で多くの方を迎え入れるために、岡山での開催を検討しておりましたが、この度、鳥取大会で開催をすることになりました。また、このコロナ感染症対策の一環として、全国大会としては初めて対面+WEBでのハイブリット開催を予定しております。なにぶん、初めての取り組みですので、当日は皆さまにご迷惑をおかけすることがあるかもしれませんが、残りの期間、しっかりと準備に努めて参りたいと考えております。

少し脱線をしますが、鳥取はこの時期、松葉がにが解禁され、秋の味覚が充実した時期を迎えます。小さな街ですので、近場の観光地は鳥取砂丘など限られていますが、少し足を運んでいただくと、青山剛昌ふるさと館(名探偵コナンの資料館)などまんがにまつわる観光地もありますので、今回の大会を機に鳥取のことも知っていただければと思っています。

さて、今回の全国大会ですが、『実践から考える自立援助ホームの“今”～支援の“間(はざま)”を再考する～』をテーマとして開催をします。鳥取では平成 19 年(第 14 回)以来の開催となりますが、そのときの資料を見ると、当時は 46 ホーム、講師や現地スタッフを合わせて 106 人の参加でした。当時から自立援助ホームでは「法の間(はざま)におちていく若者の支援」ということが言われており、その中で支援について議論がなされました。その後、法制度の改正があり、現在では 240 を超える自立援助ホームが開設され、それぞれの地域ニーズに応じた支援が展開をされているところです。特に近年で言えば、発達障がい・知的障がいの入居者の支援に関する課題がクローズアップされており、就学者も 50%を超え、60%に迫る数値となっています。また、児童相談所からの相談だけでなく、地域からの相談も増えており、そういった相談のシステムを構築するホームも出てきています。世の中の変化と共に新たな“間^{はざま}”ができているように感じています。

(次項へ)

一方、ホームが毎年のように増えていく中で、自立援助ホームの核として何を大事にしていきたいか…ということも検討する必要があり、全国自立援助ホーム協議会では昨年度から「あり方検討委員会」が開設され、議論がなされてきました。その議論の中では、自立援助ホームが特に大事にしたいことの一つとして、『生活』をベースにした“実践”の積み重ねによる支援が必要であることが認識されたのではないかと感じています。

今回の大会では、“実践”を通して、今、法や支援の“間”にある若者の現状を明らかにし、自立援助ホームの今後について議論ができる大会にしたいと考えております。多くの皆様がこの議論に参加され、実りある時間になることを願っています。

鳥取県

面積:3507.13 km²
 人口:543,615 人(2022.10.1)
 県庁所在地:鳥取市



？鳥取県クイズ？

・鳥取県には空港が2つあります。
 ひとつは「米子鬼太郎空港」もうひとつは？

・「白兔神社」に祀られている「白兔神」が登場する
 日本最古の書物は？



・鳥取県の方言で「だんだん」の意味は？

★答え合わせは
 是非、全国大会の休憩時間に。



あり方検討委員会
開催のお知らせ

「協議会運営」のあり方検討委員会の開催について

来年、協議会は発足 30 周年を迎えます。

発足当時よりも会員数が大幅に増えた今、改めて協議会の運営について見直すことになりました。皆様にご協力頂いたアンケート結果をもとに、各ブロックから選出された委員がブロック制や役員、委員会、研修等のあり方について議論していきます。

委員会は毎月 1 回、全 6 回開催する予定です。

当委員会は YouTube 配信を行います。

閲覧 URL は、協議会ホームページにあります会員専用ページにおいてお知らせしておりますので、そちらをご確認くださいようお願いいたします。

編集後記

編集後記

先日、富永愛さんが出演している里親制度啓発のテレビ CM を見ました。10 月は「里親月間」として、里親制度やファミリーホームを推進するための集中的な広報啓発活動を実施しているようです。

社会的養護は、「施設から家庭へ」本格的に舵を切り始めたんだなと感じました。児童養護施設や乳児院等は、入所施設という機能だけでは存続が難しく、区市町村との連携を図り、地域の子育て・家庭支援の拠点となるように動き出しているところも多いようです。

我々自立援助ホームは、これまで通りで良いのか、変化をしなければならぬのか、どのような方向へ向かうのでしょうか。これからのホームのあり方について、皆さんとたくさん議論していきたいですね。

広報委員長 大橋達也（吾が家）